

発行元
東京新聞
南千住専売所
TEL3803-1781

発行責任者
鬼塚 佳代子
TEL090 (2657) 0300

第21号

平成19年
1月1日

すまいるたうん



ご利益は、 つるつるな肌、弁天湯

「昭和の匂いがします。」

甚五甲子夫（83歳）と奥さんの五月さん（75歳）の2人で営んでいる弁天湯は、90年近くの歴史を持つ南千住最古の銭湯です。23年前までには、弁天池があり、ほこらがあり、弁天様が祀られていました。福徳・諸芸能上達の神様の弁財天（弁才天とも書く）である弁天様は、もともと河川の神＝水の神でした。水神の使いは蛇とされ、そこから弁天様の縁日が巳の日となっていたそうです。やはり、昔は弁天池にも蛇がたくさん出たそうです。

二百匹以上いた池の鯉は、何台ものトラックに運ばれて荒川自然公園に放流され、池は埋められました。七福神や五重塔、二宮金次郎像、灯籠も9基ありました。七福神も全部ありました。今、その池の一部が男湯の庭になっています。男湯の庭には七福神の一神で、商家では商売繁盛、金儲けの神様として、また農家では豊作の神様として、昔から庶民に親しまれてきた布袋様と、ひげをたくわえた幸福と財運と長寿の三徳を併せ持ち福録寿様と恵比寿様が祀られています。

女湯の庭にも池はありましたが、埋めて、今では琵琶をもって立つ1m近くの弁天様と観音様が祀られています。

関東大震災にもつぶれなかった弁天湯。天井の高さは、3階建ての家の高さ程あり、入ったとたんに開放感が味わえます。お湯の質もよく、利用者の方から

「うどん粉と片栗粉の差、粗目と砂糖の差のように滑らかで柔らかい」

番台に座って53年、奥さんの肌の色艶をみていただければ、それは判ります。毎日利用している岡村さん、福田さんの肌もつるつるつやつやで、皆さんきれいです。入浴客は、お湯の質にひかれて、遠方からわざわざ来る方もいます。2日おきに、カモミール湯・ラベンダー湯、森林浴とハーブ湯になっており、さら湯よりも温まります。心も体も癒してくれます。

「昔より、お客さんの背が高くなったから番台も高くしたのよ。」と奥さん。大カミソリ60円・小カミソリ30円・小シャンプー30円の張り紙が番台に張ってあり、番台に座る奥さんの後ろには、マジックで160円と書かれたあかすりが下げてあり、明曲クリムム50円（髭剃り後使用）もあります。20円の石鹸もあります。

有線の演歌が、脱衣所に流れ、色々なポスターと懐かしい体重計があります。

マッサージ機・足もみ機は、10分100円。ドライヤーは20円。

牛乳・コーヒー牛乳110円。その他のビン缶はオール100円均一の文字は良心的です。午後1時半～10時40分までの営業で、掃除、片付けで寝るのは夜中の2時近く、朝7時に起きて9時から準備に入ります。

「ここはいつもきれいに掃除してあるから気持ちいい。」
お客さんは、湯舟に足を伸ばして1日の疲れを取り、ゆっくりとした時間を楽しんで笑顔で帰って行きます。

料金は、大人430円・中人（6歳以上12歳未満）180円・小人（6歳未満）80円です。
お正月は元旦と3日休みで、2日の朝8時～午後1時まで営業致します。

男湯は、福録寿様と布袋様、恵比寿様が、女湯では観音様と弁天様が待っています。430円で、つるつるお肌になる弁天湯、新年の初風呂にいらっしやいませんか？

●ここです

ジョイフル三ノ輪商店街

都電荒川一中前

弁天湯

営業時間：午後1時半～10時40分

定休日：金曜日

ジョイフル三ノ輪商店街を抜けて
右に曲がってすぐ

南千住1-23-11

TEL 3805-1063